

## 榎の実学習会 閉講式 ～たくましく羽ばたけ！～



欠席の少なかった児童を表彰



元気よく学習成果を発表

2月16日、小学生、中学生が学ぶ『榎の実学習会』の閉講式が下榎集会所で開催されました。閉講式には小学生13人と中学生13人、小中教職員と教育委員会、保護者が出席。学習の成果を発表と、1年間欠席の少なかった児童と生徒を表彰し、賞状と記念品を贈りました。

式の中で、山本教育長は「今年度、中学生は3年に1回のリバイテイおおさかの視察研修に参加し、たくましくすることを吸収して、一人ひとりの世界が広がったと思う。学習する場を与えて下さった方に感謝すると共に、学んだことをこれからの生活に生かし、友達や身近な人に広めていって欲しい」と激励しました。

学習成果の発表では、小学生が低学年・中学年・高学年ごとに地域学習で調べた学習の発表を、中学生が学習会を振り返って、学習会の意味、学習会で学んだことについての作文を発表し、出席者から大きな拍手が送られました。

中学3年生は、9年間の学習会で学んだことを、これからの高校生活に生かして、しなやかに、そしてたくましく羽ばたいていってほしいと願います。

1年間、学習会活動にかかわって下さった皆さん、ありがとうございました。

### 《集会参加報告》

#### 部落解放同盟鳥取県連合会 第31回女性集会に参加して 西村和美

はじめに、鳥取県連合会執行委員長中田幸雄氏より「本年は全国水平社創立90年の節目の年、歴史と伝統ある功績にしっかりと応えていくことが大切である」とのあいさつに始まる。

次に、『いのちみつめて』と題し、山口県の猿舞座より猿まわし芸人村崎修二さんと猿の春水による講演及び実演【猿まわし】が行われた。

かつての日本人は、縁起をかついで特に年初めの正月には、家内安全、商売繁盛を願って、祝うという意味の伝統芸能にしたんだ。この猿まわしは、古い信仰に根ざした除悪招福の芸能を現代にあわせた内容に創意工夫して復活した。

猿舞座は、戦争のため失ってしまったかけがえない生命と文化が亡んでしまった教訓をもとに“心を生産するのは伝統芸能であり、命を産みのばし育て、伝えるのは女性の力である”という希望と情熱

のもと全国くまなく活動している。

最後に、東部、中部、西部各地区協議会からの活動報告があり、東部地協は減塩みそ作り、ふれあい祭りの参加等の取り組みの発表、中部地協は母親の生き方から学び、自らを語る勇気をもった経験の発表、西部地協は部落問題との出会い、また自分がどう関わったのかを「私の大切な宝物」～なりたい自分を目ざすとき～と題し、発表された。

### 《感想》

東部地協の活動は今後の取り組みにおいてとても参考になりました。また、西部地協の報告の中で、父母会の合言葉が「子どもが大人になる頃には部落差別は必ずなくなるよね・・・仲間づくりで必ずなくそうね・・・」と話されたことが心に残りました。この熱い思いこそ大切なことだと感じました。

(2012年2月5日 於：琴浦町まなびタウンとうはく)

## 4月の行事予定

- セラバンド体操 (場所：老人憩の家)  
日時：4月11日(水) 10:00～11:30  
講師：高橋伸也さん
- 生け花(草月流) (場所：下榎集会所)  
日時：4月28日(土) 13:30～  
講師：生田清子さん
- 参加申し込みなど詳しくは、下榎集会所  
(電話 72-1191) までお電話ください。

### ～ お礼 ～

今年度中の学習講座、ぼかぼか教室、よってみよい家など隣保館活動において、皆さまのご理解とご協力のもと、多くのご参加をいただき、ありがとうございました。

24年度も引き続き、よろしくお祈りします。

隣保館職員一同

# 町人権・同和教育推進協議会 1年の歩み

平成23年度の活動も、多くの皆さんの参加をいただき、無事進めることができました。ありがとうございました。1年を振り返り、主な内容を紹介します。

## ▶町民人権講座（会場：山村開発センター）

### 【第1回】

日時：平成23年4月28日（木）15:00～16:00  
 テーマ：人権と福祉

講師：内海 敏さん（公益社団法人 鳥取県人権文化センター会長）

参加者：65人

内容：急速に進む一人暮らしや高齢者だけの世帯、また認知症の人の増加などは誰もがやがて直面する問題です。隣人とのつながりを心の安らぎとして、可能な限り地域で尊厳を持って暮らせる。そのような地域コミュニティの在り方や仕組みづくりを考えました。



分かりやすく話す内海さん

### 【第2回】

日時：平成23年6月29日（水）18:00～19:00

テーマ：大地震と人権～人権と福祉のコミュニティをめざして～

講師：山下弘彦さん（日野ボランティアネットワーク事務局）

参加者：113人

内容：大地震に際して、命や暮らしはどのように保障されるのか。人権と福祉の視点で地域の支え合いの大切さを学び、これからのコミュニティの在り方や暮らし方などについて学びました。



被災地の様子を知ろうと多くの参加者が

### 【第3回】

日時：平成23年7月25日（月）18:00～19:10

テーマ：インターネットへの期待と現実

講師：清見久夫さん（部落問題の解決を願う・ねとわーく・とっとり代表）

参加者：59人

内容：インターネットを使って被差別地区を地図上に掲載する悪質な部落差別の実態があり、今なお多くの人々がさまざまな面で厳しい人権侵害（被害）に遭っている報告をもとに、部落差別の深刻さと、その解決に向けて考えました。



インターネットに潜む危険を学ぶ

### 【第4回】

日時：平成24年2月17日（金）18:00～19:20

テーマ：私は人生に期待するのではなく、人生が私に何を期待しているのか

講師：小谷信裕さん（米子市 浄福寺住職）

参加者：71人

内容：人は数えきれない過去の命を受け継いで生きているのだから、すべての人はどんな状況、状態にあっても生きる意味と権利がある。ときに希望を失くして絶望するが、どう生き、どのように人生を送るのが大切。人権の根底に置くべきこととして学びました。



笑顔で楽しく話す小谷さん